

2016年

12月11日(日)

13:00~17:30

於:日本学術会議講堂  
(事前予約不要・入場無料)

LGBTIに関する権利保障は、親密関係・教育・労働の三位一体で進められなければならない。雇用・労働をめくっては、職場でカミングアウトできないため、問題が隠されたままになることが多い。しかし、求職や職場環境等での深刻な人権侵害のケースが報告されている。「個人の尊重」(憲法13条)に基づき、性的指向・性自認・性に関わる特徴にかかわらず、すべての個人が能力を発揮できる制度や環境を整える必要がある。

# LGBTIの権利保障 —雇用と労働—

- 13:00~13:05 **開会挨拶** 三成 美保(日本学術会議第一部会員、奈良女子大学副学長)
- 13:05~13:30 **報告1「LGBTIの権利保障と労働法—総論」**  
名古 道功(日本学術会議連携会員、金沢大学人間社会学域法学類教授)
- 13:30~13:55 **報告2「性的指向・性自認に関する問題と労働法政策の課題」**  
内藤 忍(労働政策研究・研修機構副主任研究員)
- 13:55~14:20 **報告3「LGBTが働きやすい職場づくりへ向けた企業の取り組み」**  
村木 真紀(NPO法人虹色ダイバーシティ代表)
- 14:30~14:55 **報告4「LGBTIの雇用と労働—ILOの政策を中心に」**  
木村 愛子(NPO法人ILO活動推進日本協議会[日本ILO協議会]理事長、国際人間環境研究所所長)
- 14:55~15:20 **報告5「LGBTが職場で直面している困難の法的解決に向けて」**  
永野 靖(東京弁護士会、LGBT法連合会)
- 15:20~15:35 **コメント1「企業の先進的取り組み」** 柳沢 正和(ドイツ証券)
- 15:35~15:50 **コメント2「LGBT若者の就活支援」** 薬師 実芳(NPO法人ReBit代表)
- 16:00~17:25 **総合討論**  
(司会) 榊原 富士子(日本学術会議連携会員、東京弁護士会)  
國分 典子(日本学術会議連携会員、名古屋大学大学院法学研究科教授)
- 17:25~17:30 **閉会挨拶** 二宮 周平(日本学術会議連携会員、立命館大学法学部教授)  
総合司会 長 志珠絵(日本学術会議連携会員、神戸大学大学院国際文化学研究科教授)



主催:日本学術会議法学委員会社会と教育におけるLGBTIの権利保障分科会  
共催:日本学術会議法学委員会ジェンダー法分科会、ジェンダー法学会、ジェンダー史学会  
科研費基盤研究(A)「ジェンダー視点に立つ『新しい世界史』の構想と『市民教養』としての構築・発信」(代表:三成美保)

後援:日本ジェンダー学会

会場:日本学術会議講堂(東京都):地下鉄千代田線乃木坂駅下車すぐ

問い合わせ先:kaken-atagi\*cc.nara-wu.ac.jp(\*を@に変えてご連絡ください)